



## RADIUS サーバーの状態

- [マニュアルの変更履歴](#) (1 ページ)
- [機能説明](#) (1 ページ)
- [機能の仕組み](#) (1 ページ)
- [AAA RADIUS サーバーの設定](#) (2 ページ)
- [モニタリングおよびトラブルシューティング](#) (3 ページ)

### マニュアルの変更履歴



(注) リリース 21.24 よりも前に導入された機能については、詳細な改訂履歴は示していません。

改訂の詳細	リリース
この機能は、21.25以降のリリースで使用できます。	21.25
最初の導入。	21.24 より前

### 機能説明

この機能により、RADIUSサーバーは、キープアライブ送信のタイミングに関係なく、適切な状態を示すことができます。

### 機能の仕組み

AAA RADIUS サーバーが設定されると、認証サーバーの状態は「INIT」に設定されます。「INIT」状態では、サーバーはコンテキスト固有の設定で初期化され、アクセス要求を送信できるようになります。アクセス要求が送信されると、サーバーの状態は「Active Pending」に移

行します。SRP アクティブシャーシで肯定応答を受信すると、サーバーの状態は「ACTIVE」に移行します。一方、アカウントングサーバーを設定すると、両方のシャーシで状態が「Active」に設定されます。

この機能を導入するために、サーバーの状態は、SRP スタンバイシャーシでの初期設定時とシャーシ間セッションリカバリ (ICSR) スイッチオーバー時に更新されます。スタンバイシャーシでは最初、RADIUS サーバーがコンテキスト固有の設定で初期化されているため、サーバーは「Active Pending」状態で維持されます。キープアライブメッセージは重要であるため、設定が完了すると認証サーバーに対してアクセス要求が送信され、アカウントングサーバーに対してアカウントング要求が送信されます。ただし、スタンバイシャーシであるため、これらのキープアライブメッセージに対する応答は受信されません。そのため、キープアライブタイムアウト後、サーバーの状態は自動的に「Down」に変更されます。

ICSR スイッチオーバーのシナリオでは、新しいスタンバイシャーシになるアクティブシャーシで SRP メッセージが受信されると、サーバーの状態が「Active Pending」に変更されます。状態フローに従って、キープアライブメッセージが RADIUS サーバーに送信されますが、前のシナリオと同じように RADIUS サーバーから応答は受信されません。そのため、キープアライブタイムアウト後、サーバーの状態は自動的に「Down」に変更されます。

## AAA RADIUS サーバーの設定

この機能に必要な固有の設定はありません。RADIUS アカウントングサーバーを設定すると、シャーシの状態に応じて適切な状態が表示されます。

次に、AAA RADIUS サーバーの設定例を示します。

```
config
context ISP1
  apn intershat
  mediation-device context-name ISP1
exit
exit
config
context ISP1
  aaa group default
    radius attribute nas-ip-address address 209.165.200.225
    radius accounting interim interval 60
    radius mediation-device accounting server 209.165.200.226 key secret port 1813
    radius keepalive timeout 4
    radius keepalive retries 3
    radius keepalive interval 30
    radius accounting algorithm round-robin
    radius accounting detect-dead-server keepalive
    radius accounting keepalive timeout 4
    radius accounting keepalive username 001001110990001@pgw.keepalive
    radius accounting keepalive calling-station-id 999255255255005
    radius accounting keepalive framed-ip-address 255.255.255.224
    radius max-retries 0
    radius accounting max-retries 0
    radius max-transmissions 2
    radius accounting max-transmissions 2
    radius timeout 1
    radius accounting timeout 15
  no radius accounting archive
```

```
exit
exit
exit
exit
```

## モニタリングおよびトラブルシューティング

ここでは、この機能のモニタリングや障害対応に使用できる CLI コマンドについて説明します。

### コマンドと出力の表示

#### **show radius accounting servers detail**

特定のコンテキストで設定された RADIUS アカウンティングサーバーの詳細を表示するには、この CLI コマンドを使用します。

#### **show radius authentication servers detail**

特定のコンテキストで設定された RADIUS 認証サーバーの詳細を表示するには、この CLI コマンドを使用します。



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。